

福祉の理念生きる赤バス 存続と路線の改善を

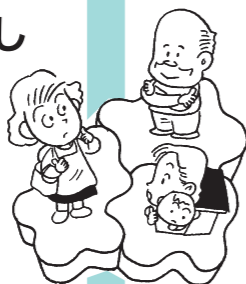


問題点はコレ

- 補助金減らして「赤字」に追い込むやり方が問題
- 片道1時間もかかる長大なループ路線で、不便!

私たちの提案

- 片道しか乗れない長大なループ路線の見直し
- 時刻表や路線図の宣伝
- 黒字の地下鉄利益を市バス・赤バスにまわす一体経営
- 他都市のように一般会計から「補助金」を多く繰り入れる



赤バス存続を訴える区役所前宣伝

涙ながらに署名してくれた



上田トミエさん

城東区

涙ながらに存続もとめる署名をしてくれる人がいます。私も転倒してから赤バスを利用して、病院がよいに利用しています。座席に座って隣同士で気軽に話もできるし、若いお母さんや赤ちゃんにも優しいバスです。

1周70分もかかる赤バス



大槻一成さん

港区

赤バスループ路線は1周1時間10分かかります。一方方向で運行されているため、反対向きに行きたいときは1時間近くも必要。便利な運行方法に改めるべきです。切手を貼って署名を始めたなら、百数十通の悲痛な声が寄せられました。

税金は人間のために使って欲しい



梅原克子さん

東淀川区

大道南の市営住宅は350戸あり、85%の方が高齢者です。喜んで赤バスに乗って、買い物や病院に出かけています。署名運動したら市営住宅の人の85%の人が「絶対に困る」と署名を集めてくれました。税金は人間のために使ってほしいと思います。

路線が改善されて喜んだのに



阪本久一さん

都島区

毛馬は与謝野蕪村の生誕地ですが、交通の空白地で長年、赤バスの運行を期待していました。路線も改善され、毛馬町3丁目、4丁目に止まるようになったので、喜んで、「廃止」になると聞いてビックリです。

ルート変更で乗客が増えました



日高雅子さん

旭区

団地は築36年で、980戸の半分が高齢者です。若いお母さんも図書館に行くのに利用しています。太子橋などは不便でしたが、二方向通行の大回りだったけども、ルート変更がされ、乗客が増えました。

大阪市は、赤バスを「経済性と公共性」が著しく低いとして来年度末(2011年3月末)に廃止(全27路線)する計画に入っていました。2012年度3月まで判断を先送りしました。しかし、大阪市は「全面廃止の方向は変わらない」としたうえで、「ルート変更などで利用者数

が一定基準に達すれば継続も視野に入れる」と、「市営バス事業の改革プラン」アクションプラン」に書き込みました。今後、存続を前提に、利用しやすい赤バス路線の改善などを行政区ごとに求めようとしているようです。